

イネWCS、飼料用米を活用した「豊後・米仕上牛」のブランド力強化と生産性向上

【研究のポイント】

県北地域で交雑種ブランド「豊後・米仕上牛」が生産販売されていますが、さらなる飼料用米の増給や地域資源を活用することによりおいしさの向上とコスト低減が可能かどうか、生産者から飼養技術の開発が求められました。
 そこで今回、国産飼料であるイネWCS麦焼酎粕混合飼料や飼料用米を最大限活用し、牛脂中のオレイン酸割合を向上させるための交雑種肥育体系の確立を目的として交雑種肥育試験に取り組みました。
 試験区①は、市販配合飼料の25.5%を飼料用米で代替したものを通期で給与しました。試験区②は、試験区①の給与体系に加え、育成期～肥育前期に乾草をイネWCS麦焼酎粕混合飼料(以下「混合飼料」)で代替しました。対照区は、市販配合飼料を給与しました。

<ポイント>

- ・飼料用米を給与することで、脂肪交雑は高くなりました。飼料用米の単独での給与は皮下脂肪が厚くなる傾向にありましたが、混合飼料と併せて給与することで改善されました。
- ・混合飼料の嗜好性は、非常に良く、発育も最も良好でした。
- ・混合飼料と飼料用米を組み合わせることで、おいしさ指標の一つである、牛脂中オレイン酸割合が高くなりました。

図1.枝肉成績と脂肪酸のオレイン酸割合

	出荷 体重	等級	枝肉 重量(kg)	胸最長筋 面積(cm ²)	バラの 厚さ(cm)	皮下脂肪の 厚さ(cm)	BMS No.	締まり	オレイン 酸(%)※
試験区①1	653	C-3	404.9	49	6.7	5.5	3	3	50.4
試験区①2	836	B-3	471.3	57	7.0	2.9	4	3	48.4
試験区①3	680	B-2	407.8	67	6.2	3.9	4	2	57.1
試験区①4	710	C-3	418.4	55	5.6	4.7	4	3	51.6
平均	719.8	-	425.6	57.0	6.4	4.3	3.8	2.8	51.9
試験区②1	783	B-3	474.7	58	6.6	3.4	4	3	64.1
試験区②2	707	B-2	413.6	37	6.5	1.8	3	2	49.8
試験区②3	776	C-3	449.0	51	6.5	4.3	4	3	52.7
試験区②4	744	B-3	424.7	49	6.0	3.5	4	3	54.7
平均	752.5	-	440.5	48.8	6.4	3.3	3.8	2.8	55.3
対照区1	750	B-3	462.6	58	6.9	3.5	3	3	53.2
対照区2	736	C-2	447	55	6.1	4.7	3	2	54.6
対照区3	661	B-2	397.1	53	5.5	2.6	3	2	51.6
対照区4	775	B-2	459.2	48	6.0	3.1	3	2	47.0
平均	730.5	-	441.5	53.5	6.1	3.5	3.0	2.3	51.6

※オレイン酸割合分析値(第6～7肋骨間の筋間脂肪中)は、C14:0、C14:1、C16:0、C16:1、C18:0、C18:1、C18:2、C18:3の総和を100とした百分率で示した。

飼料用米及び混合飼料を給与した牛の枝肉(試験区②4)



【生産者の声】

今回の試験成績から、飼料用米の増給や混合飼料の利用が可能であることが分かった。今後、当農場の給与飼料と栄養価やコスト面で比較し、飼料用米の増給や焼酎粕イネWCS混合飼料について積極的に活用していきたい。

杵築市大田 (有)長谷雄牧場



【連絡先】

担当:農林水産研究指導センター 畜産研究部 肉用牛繁殖・酪農チーム
 TEL : 0974-76-1216
 住所:大分県竹田市久住町大字久住3989-1